

**No. 10-17**  
**第 21 回内燃機関シンポジウム**  
**- 低炭素社会に向けたエンジン技術 -**

共催：社団法人 日本機械学会（幹事学会） 社団法人 自動車技術会

協賛：（社）可視化情報学会・（社）石油学会・日本液体微粒化学会・（社）日本エネルギー学会・

（社）日本ガス協会・（社）日本ガスタービン学会・（社）日本トライボロジー学会・日本内燃機関  
連合会・日本燃焼学会・（社）日本マリンエンジニアリング学会・（社）日本陸用内燃機関協会

開催趣旨：

内燃機関はその発明以来、自動車を始めとして、トラック・バス、二輪車、汎用、船用など各種機械・装置の動力源として広く用いられ、近代文明の形成にとって欠くことのできないものになって来ました。その間、人類の飛躍的な発展をもたらし、新技術を生み出すことによって社会の発展を支え、進化を続けてきました。新たな世紀を迎えて、いわゆる持続可能な社会に向けた新動力システムの開発が模索されていますが、その普及には様々な課題があり、CO<sub>2</sub> とエネルギー消費の削減や環境改善に向けて内燃機関が果たす役割には依然として大きいものが有ります。エネルギーの多様化とハイブリッドシステムに象徴される動力システムの多様化は、幅広い技術分野の新たな進歩を必要としています。本シンポジウムは内燃機関に関する専門家が集まる国内唯一のシンポジウムとして、内燃機関とそのシステムに関わる全ての技術分野の最新の研究成果の発表と活発な討論を通じて、エンジンシステムが社会の発展にいかに関与し得るかを考え、内燃機関の未来を拓く革新的技術の方向と可能性を見極めたいと思います。

開催日： 2010年11月10日（水）～12日（金）

会場： 岡山大学創立50周年記念館 会場案内図は、下記ウェブページをご参照下さい。  
<http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/kinenkan-index.htm>

講演申込方法：

- ・ 研究発表申込書（日本機械学会 ES 部門ホームページの第 21 回内燃機関シンポジウム URL (<http://www.jsme.or.jp/esd/ICES/21stICES.html>) より入手)に必要事項を記入の上、申込締切日までに電子メールに添付して、下記宛お申し込み下さい。

【[kidog@eco.tokushima-u.ac.jp](mailto:kidog@eco.tokushima-u.ac.jp)】

- ・ 希望セッションの欄には、次の中からご希望の募集領域、募集分野を選択してご記入下さい。

【募集領域】募集分野 / :

【エンジン燃焼】ガソリン燃焼、ガソリン噴霧、予混合圧縮着火、着火と燃焼、ノッキング、混合気形成、ディーゼル燃焼、ディーゼル噴霧 / 【排気・環境】排気、触媒、後処理、排熱回収、環境影響評価 / 【燃料】バイオ燃料、石油代替燃料、水素、燃料添加物 / 【潤滑油・トライボロジー】潤滑油、トライボロジー、摩擦・磨耗、低摩擦化 / 【振動・騒音】振動、騒音 / 【新機構・システム】可変機構、ガスエンジン、ロータリエンジン、ガスタービン、ハイブリッド技術 / 【要素技術】燃料噴射、過給、吸排気系、冷却・伝熱 / 【計測・制御】計測・診断法、レーザ計測、数値計算・シミュレーション、システム制御、最適化

- ・ 講演者が日本機械学会の会員で、講演申し込み時に下記学会賞の候補資格に当てはまる場合には、申し込み用紙の所定欄に 印を記入して下さい。

F（フェロー賞）： 学生員、准員および修士修了後1年目の正員

B（ES部門ベストプレゼンテーション賞）： 35歳以下の研究者（学生を含む）、技術者

講演申込締切日： 2010年4月30日（金）

講演採択通知： 2010年6月下旬（E-mailにて通知致します）

原稿提出締切日： 2010年8月20日（金）

使用言語： 日本語あるいは英語

原稿用紙書式： 詳細は学会ホームページ(<http://www.jsme.or.jp/conrule.htm>)

原稿枚数： A4版6枚

問合せ先： 社団法人 日本機械学会エンジンシステム部門

担当職員 加藤佐知子

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地信濃町煉瓦館5階

Tel. 03-5360-3503 Fax. 03-5360-3508 E-mail:kato@jsme.or.jp